

「儲かる考え方①」

儲けると言くと、ちょっととを軽蔑する思いがあると、品位に欠ける印象かもしれない。しかし儲からない会社は潰れますし、個人でも儲からないと豊かに暮らすことは出来ません。外国と比べると、日本には儲からない企業・事業が多過ぎることがわかります。土農工商という身分を差別する言葉が、かつてありました。商人は、かねてより日本社会で蔑視されてきたと言っていると思えます。儲けることには、何かズルさのようなものが付随した感じがするのかも知れません。逆に真面目、清廉ということ、は、讚える感覚があると思えます。武士は食わねど高楊枝という言葉もあります。

日本人には、清貧、貧しいが真面目であることに共感する人が多く、潜在的に、儲けることに罪悪感や軽蔑を感じる人が多いように感じます。潜在意識に、儲けることとを軽蔑する思いがあると、儲けることは出来ません。即ち豊かになることが出来ません。世の中には詐術的に金儲けをして問題となり、世間を騒がせる人達が後を絶ちません。そういった不心得者の話を見聞きするたびに、私達は義憤にかられ、不当な金儲けを許せないという思いを募らせていきます。それが潜在意識にいつの間にか、「金儲けは汚い」という誤った認識を蓄積させているのではないかと思います。

なければなりません。長年深く自分の心に刻み込んだ思いは、なかなかしぶとく書き換えられません。しかし書き換えなければ、豊かになることが難しくなるかもしれませぬ。豊かになりたいと願う人でも、このハードルを越えるのがなかなか難しいように見受けられます。

そして、いざ儲けようとするとなかなか儲けられないものもあります。この「儲けよう」という気持ちが出ると、実は儲からないように思

儲かることに繋がっていきませぬ。ニーズに依って正当な対価をいただくことは、共に喜び共に栄える、ウィンウィンの道です。自らを誇りこそすれ、卑下する必要など一点も無い、素晴らしいことではありませんか？

儲からない人は、人から求められていることではなく、自分のしたいことをしていることが多いです。ニーズを正しく掴めていない人もいます。

正しくニーズに応え、正当な対価を求め、それを得る。それが儲かるための基本的な考え方だと思えます。

正当な商売や事業でなければ、決して長続きはしません。化けの皮はいずれ剥がれます。また、商売や事業が長続きするためには儲けることが絶対に必要です。私達も「正当に儲けることはとても素晴らしいことだ」と知り、潜在意識にそれを深く刻み込むことで、これまでの誤った刷り込みを書き換え

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net